



▶ 横浜市衛生研究所では、所内で実施した試験検査などの結果に解説を加えて、検査情報月報を発行しています。



2023年7月発行

医動物・種類同定検査結果（令和5年4月～6月）

▶ 人の健康を害し、人に不快感を与える昆虫、ダニ、寄生虫等の試験・調査・研究を行っています。昆虫類の種類を同定することによって、発生源、発生時期、人に対する害などが分かると、効果的な対策を立てることにつながります。

主な結果 ▶ 昆虫類3件(シロアリ目1件、ハエ目1件、ハチ目1件)でした。

レジオネラ属菌の検査結果（令和4年度）

▶ レジオネラ属菌は湖沼の水や土の中に生息する常在菌で、土埃などで運ばれて噴水などの水景設備や冷却塔、浴場施設などの人工的な水環境下でアメーバを介して増殖します。このレジオネラ属菌によって汚染された水のエアロゾルを人が吸い込んだり、汚染水が誤って気道に入ったりすると感染する可能性があります。

▶ レジオネラ症の発生・拡大を防止するには、原因施設を特定し、レジオネラ属菌を殺菌消毒することが重要です。患者の行動調査で利用施設を聞き取り、施設の水や水回りのふき取り検体を採取して、レジオネラ属菌検査を行って感染源を特定します。

主な結果 ▶ 患者宅や高齢者福祉施設など延べ31施設、146検体(水試料76、ふきとり試料70)の検査を行いました。

▶ **LAMP法で遺伝子が検出されたのは6施設、10検体**(水試料8、ふきとり試料2)で、**培養法で菌が検出されたのは3施設、4検体**(水試料3、ふきとり試料1)でした。

▶ レジオネラ属菌が検出された施設は、保健所の指導により、消毒等の衛生対策を実施しています。

家庭用品検査結果（令和4年度）

▶ 家庭用品とは、衣料品や洗剤など私たちが日常生活で使用している生活用品のことをいいます。「有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律」に基づき検査を行っています。

主な結果 ▶ 市内販売店で購入された58検体について、延べ292項目の検査を実施しました。

▶ **規制基準を超えた検体はありません**でした。

ようこそ横浜市衛生研究所へ

検索



<https://www.youtube.com/watch?v=dWTuDPSBj8>

紹介動画 公開中 !!